



麦田 博稔 議員

まちづくりの対策は

町長/住民・行政協働を目指す

宮之城農業高校・薩摩中央高校



麦田 合併効果が現れ、町民が合併して良かったと思える、また、合併のモデルとなるような、公平感と一体感のある町づくりの具体策は、

町長 合併効果を引き出すために、行政管理室を設置し、各種の事務事業や内部管理経費を総点検して、可能な限り改善目標を数値化しながら、簡素で効果的な行政運営に取り組み、住民・行政協働による住民主体・住民本位の町づくりを目指します。

どうする高校対策

町長/振興対策協議会を再編して

麦田 高校再編問題について、県の対応が変わってきている。地元の声が届くように、誠実に粘り強く交渉をすべきではないか。

町長 徳之島や種子島の話聞いて、大変残念であった。当面、三校が存在することになるので、関係者の意見を聴きながら、振興対策協議会を再編し、必要な支援を行います。跡地活用の問題については、最善のあり方を、県と一緒に進めます。

★他の質問

○特産品の
トップセールス

農業の具体的振興策

町長/関係機関・団体と一体で



米丸 文武 議員



▲梅加工センター

米丸 本町の基幹産業である米生産をはじめハウス園芸、畜産、茶、果樹生産等の農業について、町長自身の振興策は、

町長 水稲は農協と連携をとり、計画生産と集落営農を進めます。ハウス園芸は規模拡大と販路開拓、畜産は国・県または町単独により、優良雌牛の導入、自家保留で維持拡大など、今後は茶、果樹を含め、消費者ニーズに対応した付加価値の高い農業生産を関係機関・団体と一体となって進めます。

農業後継者対策

町長/支援策を積極的に

米丸 農業生産者の主軸が70歳と高齢化している。基幹産業である農業を守るために、今後の農業後継者対策を示せ

町長 農業を基幹産業とする本町において、農業後継者や新規就農者の育成は大変重要なことでもあります。関係機関と連携しながら、農業後継者の支援策を積極的に推進します。

★他の質問

○町長のトップセールスの展開について